

# 平成26年度決算認定

平成26年度各会計決算認定は、一般会計ほか9件すべてを原案どおり全員賛成で認定しました。おもな質疑は次のとおりです。

## 質疑

### 住宅使用料の収納率を上げる工夫は

**問** (阿部泰藏議員)  
住宅使用料の収納率(平成26年度は83・9%)

を上げないと不公平感が生まれると思うが、収納率を上げる工夫はあったか。

**建設課長** 督促状や催告、戸別訪問を実施している。そのほか、町営住宅使用料などの未納を増やさないよう住宅の明け渡し訴訟や、払う意志のある方には分割で納めるよう調停を行っている。

### 未収金への対応策は

**問** (八島博正議員)  
不能欠損や未収金の取り扱いなどは役場全体で取り組まなくてはならないが、庁舎内での対応策は。

**副町長** 平成26年度に債権の管理に関する庁内の連携と情報の共有を図るため、債権管理本

部を設置している。債権の調査、解消対策に関する事務を行っており、町税はもちろん使用料などについても連携し、収納の効率化に努めている。

### 東京電力からの弁償金は今後求めないのか

**問** (浅野富男議員)  
東京電力からの弁償金として1億5000万円の入金があった。これですべての賠償がされ、今後は賠償を求めていかないのか。

**上下水道課長** この1億5000万円の金は県北浄化センター周辺の環境整備臭気対策分である。今後も原発事故に起因する事業にかかった費用や、対応職員の人件費について継続的に賠償を求めていく。このほか、上下水道課では水道、下水道の減収分も請求している。

### 防犯灯をLED化する予定は

**問** (渡辺勝弘議員)  
防犯活動の総事業費721万円のうち、防犯灯の電気代が442万円と割合が大きい。設置費用は高いがLED化の予定はあるのか。

**住民生活課長** LED化する削減になるだけでなく、明るいので犯罪の抑止効果も期待できる。かなりの事業費がかかるものなので、今後検討していきたい。

### 予算の不用額が多いという指摘にどう対応するのか

**問** (八島博正議員)  
監査委員より予算の不用額が5億1250万円が多いとの指摘があった。どう対応していくのか。

**総務課長** 不用額が多い原因は、庁舎備品購入が安価になったこと、原発災害対策費の繰越事業の補正減ができなかったことが挙げられる。適正な予算措置と実行について厳格に対応していきたい。

### 庁舎建設で備品購入費は予定より削減されたのか

**問** (佐藤定男議員)  
庁舎建設の備品購入費で6400万円減の内訳は。

**総務課長** 業者を選定し庁舎に合ったものを選び、なるべく安価に仕入れた結果減額したものである。

### 議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は12月8日開催予定です

手続は、受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。また、議案審議がわかりやすくするため、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。  
TEL 585-3295 (直通)

## 決算審査報告

監査委員 佐藤 徳正、松浦 常雄

各会計の決算書が関係法令に準拠しているか、財政運営が適正かを主眼として審査をしました。

その結果、各会計とも黒字を維持しており、計画的な財政執行による収支の均衡と健全な財政運営が行われていました。



審査結果を報告する  
佐藤徳正代表監査委員

また、健全化判断比率、資金不足比率審査は、その算定と基礎となる書類が適正に作成されているかを主眼として実施しました。

その結果、いずれも適正に行われていました。

健全化判断比率は、実質公債費比率、将来負担比率とも前年より下がり、早期健全化基準を下回っているため、良好です。

公営企業の経営状況は、水道事業会計、下水道事業特別会計、土地開発事業特別会計のいずれも資金不足はありませんでした。(抜粋)

## 農業振興費の調査

### 委託料の内容は

(渡辺勝弘議員)

調査委託料941

万円とあるが、この内容は、

### 産業振興課長

水田関係の放射線の吸収抑制対策の基礎資料とするため、水田450か所について土壌放射線量の調査をしたものである。

## 財政力指数を高める

### いくための方法は

(八島博正議員)

財政力指数について、

昨年度は0.283で毎年下がっている。財政力を高めていくための考えは、

### 副町長

役場庁舎も完成し、復旧・復興も少しずつ形になってきている。町を挙げて地方創生や歴史まちづくり事業、道の駅事業などに取り組んでいるが、人口が減少した

### 健全化判断比率 (%)

区分	26年度(25年度)	早期健全化基準
実質赤字比率 <sup>*1</sup>	赤字なし(〃)	15.00
連結実質赤字比率 <sup>*2</sup>	赤字なし(〃)	20.00
実質公債費比率 <sup>*3</sup>	8.1(10.0)	25.00
将来負担比率 <sup>*4</sup>	75.1(77.4)	350.00

- ※1 一般会計と公営事業を除く特別会計の赤字の割合
- ※2 公営事業を含む全会計の赤字額の合計割合
- ※3 収入に対する負債返済の割合
- ※4 将来支払う見込みの負債割合

## 議会ホームページも ご覧ください

議会日程、議会だより、議会内容を記録した会議録はもちろん、議会生中継をしています。

生中継はインターネットを使ってご覧いただくことができます。「議会ホームページ」トップページの「議会中継」をクリックすれば動画が見られます。

ぜひご覧ください。



<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>

※財政力指数とは  
地方公共団体の財政力の強弱を示す数値。財政力指数が1に近いほど留保財源が多く財政的に余裕があると言われおり、数値が1を超えると交付税の不交付団体となる。

のでは、総合的に町の施策を一つ一つ確実にこなしていくことが大事だと考えている。



今年5月に新庁舎の開庁式が行われ、復興も形になってきた